

# 沖縄県内に於ける米軍関連ゴルフ場

## 国内に於ける米軍施設内のゴルフ場

日本国内の米軍施設内にはゴルフ場が併設されている場合があり、その数について 2008 年 3 月 21 日、時の内閣へ武正公一衆議院議員が質問趣意書と言う形で尋ねた結果、4 月 1 日に政府答弁書が河野洋平衆議院議長へ送付されている。

その 4 月 1 日に発せられた福田康夫内閣総理大臣からの答弁書では、下記 10 ヶ所のゴルフ場を確認出来た。

### ■ 2008 年 4 月 1 日時点でのゴルフコース

1、ゴサーメモリアルゴルフコース	(三沢飛行場)	青森県
2、多摩ヒルズゴルフコース	(多摩サービス補助施設)	東京都
3、パースリーゴルフコース	(横田飛行場)	東京都
4、アツギゴルフコース	(厚木海軍飛行場)	神奈川県
5、キャンプ座間ゴルフコース	(キャンプ座間)	神奈川県
6、トリイパインズゴルフコース	(岩国飛行場)	山口県
7、ハブリックスゴルフコース	(奥間レスト・センター)	沖縄県
8、バンヤンツリーゴルフコース	(嘉手納飛行場)	沖縄県
9、泡瀬メドウズゴルフコース	(キャンプ端慶覧)	沖縄県
10、知花ゴルフコース	(嘉手納弾薬庫地区)	沖縄県

武正議員による質問趣意書から 17 年が経過した 2025 年の今日、在日米軍関連ゴルフ場数に大きな変化はあったのだろうか。

2009 年 2 月末に「泡瀬メドウズゴルフコース」が閉鎖されるも、その 2 週間後には TAIYO GOLF CLUB (タイヨーゴルフクラブ) が新規に開場しており、この時点で数に変更は無い。

しかしながら 2012 年 4 月 1 日に、岩国飛行場の「トリイパインズゴルフコース」が閉鎖された為、2025 年 12 月中旬時点で確認出来るのは 9 コースになる。

なお「泡瀬メドウズゴルフコース」は、沖縄ゴルフ史に大きな足跡を残した関係から、若干その横顔について、時系列的流れを見る事でふれておきたい。

### ■ 泡瀬メドウズゴルフコース

- ・ 1948 年 グランドオープン (9 ホールのサンドグリーンコース)。
- ・ 1953 年 18 ホールコースとなる。

- ・1960 年 泡瀬メドウ商工会議所オープンで、リー・トレビノという若き海兵隊員が優勝。グリーンが芝へ改修。
- ・1976 年 米海兵隊が陸軍に替わりリンクスの管理を引き継ぐ。
- ・1996 年 土地返還。地主連合は2015年開業予定の「イオンモール沖縄ライカム」として当該地を再開発する事を決定。
- ・2009 年 2月下旬、閉鎖。

## ■ 2025 年 12 月中旬時点での国内米軍施設に付随するゴルフコース

1、ゴサーメモリアルゴルフコース	(三沢飛行場)	青森県
2、多摩ヒルズゴルフコース	(多摩サービス補助施設)	東京都
3、パースリーゴルフコース	(横田飛行場)	東京都
4、アツギゴルフコース	(厚木海軍飛行場)	神奈川県
5、キャンプ座間ゴルフコース	(キャンプ座間)	神奈川県
6、ハブリンクスゴルフコース	(奥間レスト・センター)	沖縄県
7、バンヤンツリーゴルフコース	(嘉手納飛行場)	沖縄県
8、TAIYO GOLF CLUB	(キャンプ端慶覧)	沖縄県
9、知花ゴルフコース	(嘉手納弾薬庫地区)	沖縄県

## 沖縄県内に於ける米軍施設内のゴルフ場

この様に見て来ると、米軍施設関連ゴルフコースは沖縄県に多いと見て取れる訳だが、それは沖縄県に米軍施設が集中している、裏返せばその証明でもある。これは日米同盟それも軍事に於ける要石的存在が、沖縄県であると言う何よりの証左だ。

他国から侵略の脅威にさらされている台湾が間近に位置している事から、地政学的には常に緊張感を強いられている米軍関係者の中で、ゴルフはリラックス出来る余暇活動の一つになっているのかも知れない。それでは沖縄県の4コースを、具体的に見て行く事とする。

## ■ TAIYO GOLF CLUB (タイヨーゴルフクラブ)

### ★ 名称の由来

日本語の「太陽」にちなんで名付けられた。

### ★ コース概要

- ・所在地：〒904-2205 沖縄県うるま市江野比 1183
- ・連絡先：098-954-2004
- ・コース：18 ホールコース\_\_パー72
- ・距離：ブラック 6,653 ヤード



- ・距離：ブルー 6,320
- ・距離：ホワイト 5,950
- ・距離：レディース 5,356
- ・入 場：米軍関係者のエスコート不要
- ・プレー：予約は出来ない為、直接来場し空き次第スタート。
- ・決 済：ドルと円どちらも使用可能  
平日 7,500 円 / 土、日、祝 8,000 円

★ 18 ホールのティー及びヤーデージ

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	9 ホール
Black	530	359	370	517	384	174	388	180	437	3,339
Blue	501	349	366	487	376	164	380	158	394	3,175
White	483	324	328	471	334	138	350	150	372	2,950
Red	462	298	297	438	308	116	327	129	323	2,698
パー	5	4	4	5	4	3	4	3	4	36

ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	9 ホール	18 ホール
Black	524	360	182	449	347	160	341	538	413	3,314	6,653
Blue	499	328	177	426	337	144	331	519	384	3,145	6,320
White	487	314	169	410	315	139	286	507	373	3,000	5,950
Red	459	282	104	335	291	122	244	489	332	2,658	5,356
パー	5	4	3	4	4	3	4	5	4	36	72

★ コースレイアウト及び利用料金



	18 ホール (平日)	18 ホール (土、日)
米兵 (E1~E4)	17 ドル	18 ドル
米兵 (E5~E9)	20 ドル	21 ドル
役員／国防総省	23 ドル	24 ドル
自衛隊	23 ドル	24 ドル
SOFA ジュニア	8 ドル	10 ドル
基地従業員	5,500 円	5,500 円
地位協定非加盟国	5,500 円	6,000 円
SOFA 対象外ジュニア	3,500 円	4,000 円

2025 年 12 月初旬時点での料金を、当該コース Web サイトから確認。

### ■ 知花ゴルフコース (CHIBANA GOLF COURSE)

## ★ 9 ホールのヤーデージ

[illegible]

## ★ コースレイアウト



- ・ 住 所：嘉手納基地に隣接（嘉手納基地ゲート 3 を出てすぐの場所）
- ・ 連絡先：036-868-2224 ／ 080-9855-7966
- ・ Web ：<https://kadenafss.com/chibana-golf-course/>
- ・ コース：9 ホールコース・距離 1,266 ヤード・パー 27
- ・ 練習場：有り
- ・ プレー：日本人のプレーは可能。紹介やエスコートは不要なるも、到着順でのスタートになる為に混雑時は待つ事あり。
- ・ 決 済：ドル或いは円
- ・ 料 金：米軍関係者（E1~E4） 9 ホール・\$ 6 ／ 18 ホール \$ 10  
米軍関係者（E5 以上） 9 ホール・\$ 10 ／ 18 ホール \$ 14  
ゲスト 9 ホール・\$ 15 ／ 18 ホール \$ 22  
ジュニア 9 ホール・\$ 5 ／ 18 ホール \$ 8

## ■ バンヤンツリーゴルフコース (Banyan Tree Golf Course)

### ★ コース概要

- ・所在地：〒904-0112 沖縄県中頭郡北谷町浜川  
嘉手納空軍基地内（嘉手納基地 12 号棟、嘉手納基地ゲート 1 のすぐ内側）
- ・連絡先：03-6868-2223 / 098-966-7321
- ・Web : <https://kadenafss.com/banyan-tree-golf-course/>
- ・コース：18 ホールコース・パー72
- ・練習場：45 打席、250 ヤード
- ・施設：アプローチ練習場、バンカー練習場、パッティンググリーン
- ・入 場：日本人のプレーは米軍関係者のエスコート要。
- ・プレー：スループレー
- ・決 済：ドルと円どちらも使用可能（現金及びカード可）
- ・料 金：

	9 ホール	18 ホール
米軍関係者 (E1～E4)	\$ 13	\$ 20
米軍関係者 (E5 以上)	\$ 18	\$ 26
ジュニア	\$ 4	\$ 8
ゲスト	\$ 27	\$ 42

### ★ 18 ホールのティー及びヤーデージ

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	9 ホール
BLACK	312	486	372	186	385	206	414	519	376	3,256
GOLD	293	476	365	176	373	190	401	485	363	3,122
SILVER	293	476	231	176	246	155	401	485	277	2,740
BRONZE	210	405	231	107	246	155	318	412	277	2,361
パー	4	5	4	3	4	3	4	5	4	36

ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	9 ホール	18 ホール
BLACK	592	456	192	368	156	345	530	450	369	3,256	6,714
GOLD	581	415	180	349	146	338	455	440	343	3,247	6,369
SILVER	503	317	180	349	146	338	455	350	343	2,981	5,720
BRONZE	503	317	174	274	121	258	363	350	292	2,652	5,013
パー	5	4	3	4	3	4	5	4	4	36	72

※ 沖縄本島中部の嘉手納町にあるゴルフ場で、<Banyan Tree>バンヤンツリーとは、ガジュマルの木と言う意味。

ちなみに嘉手納町面積の 82%は米軍空軍基地である。

## ■ ハ布林クスゴルフコース (Hub Links Golf Course)

### ★ コース概要

- ・所在地：〒905-1417 沖縄県国頭郡国頭村桃原（とうばる）  
（厳密には米軍施設の関係から住所は無い）
- ・連絡先：090-3795-6563
- ・Web：無
- ・コース：9 ホールコース
- ・施設：練習場無、小さなパッティンググリーン有り
- ・食事：レストラン有り
- ・プレー：米軍関係者及びパスを保有していないゲストのプレーは関係者のエスコート要。
- ・決済：ドル及び円にて清算、現金或いはクレジットカードの利用可
- ・料金：ゲスト料金（全日）  
9 ホール：15 ドル  
18 ホール：21 ドル



### ★ 9 ホールのヤーデージ

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	9 ホール
1 度目	108	99	140	105	125	109	68	95	160	1,009 ヤード
2 度目	120	105	126	89	93	94	62	108	147	944 ヤード
パー	3	3	3	3	3	3	3	3	3	27

9 ホールのみをラウンドする場合は、上記 1,009 ヤードの設定。

18 ホールをラウンドする場合、9 ホールを 2 度ラウンドする事になるのだが、2 度目の後半は 944 ヤードの設定でプレーする。

## 最後に

沖縄県に於ける米軍施設付随の 4 ゴルフ場は、本格的な 18 ホールコース 2 ヶ所と、9 ホールの所謂ショートコース 2 ヶ所に仕分けられる。基本的な位置づけは米軍関係者の娯楽施設であるが、2 コースはパブリック的要素を取り入れ、プレーヤーの属性を不問にし到着順にて受け入れている。

米軍関係者及び日本人の利用実態について、数字化された資料は軍外部に出て来る事は無いものと思われるが、沖縄県に 4 コースもあると言う事は、それ自体需要の高さを物語っている。それだけ米軍関係者にとってゴルフは、身近なスポーツ、娯楽なのだろう。

それは沖縄県の米軍施設関連ゴルフ場の第一号となった今は無き「泡瀬メドウズゴルフコー



ス」が、大東亜戦争終結後わずか3年、GHQ 統治下の1948年に9ホールコースと言え完成している事でも良くわかる。

常に死と向き合う戦闘を職業とする軍人にとって、緊張感は通常の職業とは比較にならない訳だが、その様な環境下にあっても気分転換は重要な要素になっているのだと思われる。軍事組織内へ気分転換的要素を取り入れているのは、今日米軍独自のものとは思えないが、こと米軍に限定するならばその傾向は、大東亜戦争時までさかのぼり確認する事が出来る。

1984年5月31日にダイヤモンド社から6名の著者によって出版された『失敗の本質』、日本軍敗戦の原因を残された資料を基に科学的に分析しようと試みた名著であるが、その272ページ目には、戦時下においてもスポーツを楽しむ米軍関係者の姿が記述されている。参考までにその一文を下記へ抜粋する。

「 ガダルカナル戦では、海兵隊員が戦争のあい間にテニスをするのを見て辻政信は驚いたといわれている。彼らの戦い方には、なにか余裕があった。 」

本稿は戦争論を語るものでは無いので此処までにするが、80年以上も前から物事には気分転換が必要だと米軍関係者は認識していて、昔テニス今はゴルフを取り入れているのだと思われる。

ゴルフは米軍関係者にとって今日気分転換の為、尚且つ身近な娯楽・スポーツの一つになっている事が、これら様々な現象面から良く分かる。そこへ日米相互理解の観点から、日本人ゴルファーの利用も可能になっているというのが、実態なのでは無いだろうか。

これは何も沖縄県の4コースに限定されたものではなく、国内他の5コースも共通の意味合いを有しているものと思われる。

なお当該地は、日本であるものの実態は米国である事から、消費税及び利用税はプレーヤーへ課されていない。

米軍基地関連ゴルフ場は、日本人の一般ゴルファーにとって馴染みの薄いもので、知る人ぞ知るコースと言えるが、一度関心を持ち更にもう少し知りたいと思われた方々が、本稿を通じてざっくりと俯瞰出来る資料となるならば、これ以上の幸せは無い。

この辺で本稿を閉めたい。

2025年12月25日

文\_\_大野良夫 © Yoshio Oono

日本ゴルフジャーナリスト協会員